

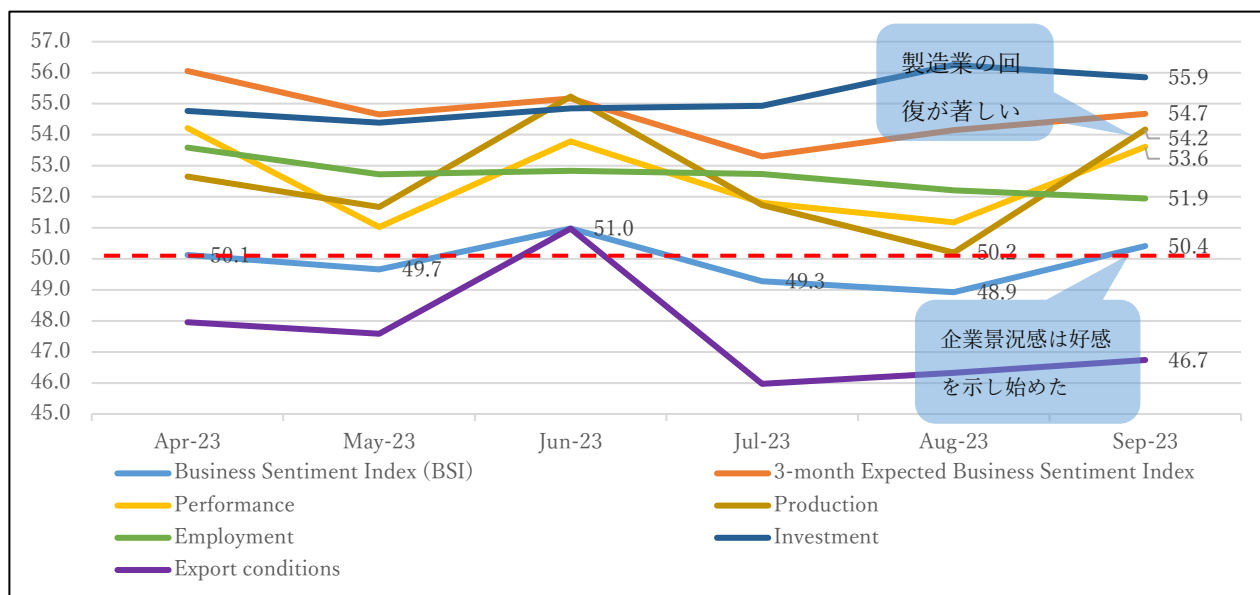
タイ経済指標斜め読み

(2023年10月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【調査：景気指数】

タイ中央銀行は、9月のBSI（企業景況感指数）を発表した。

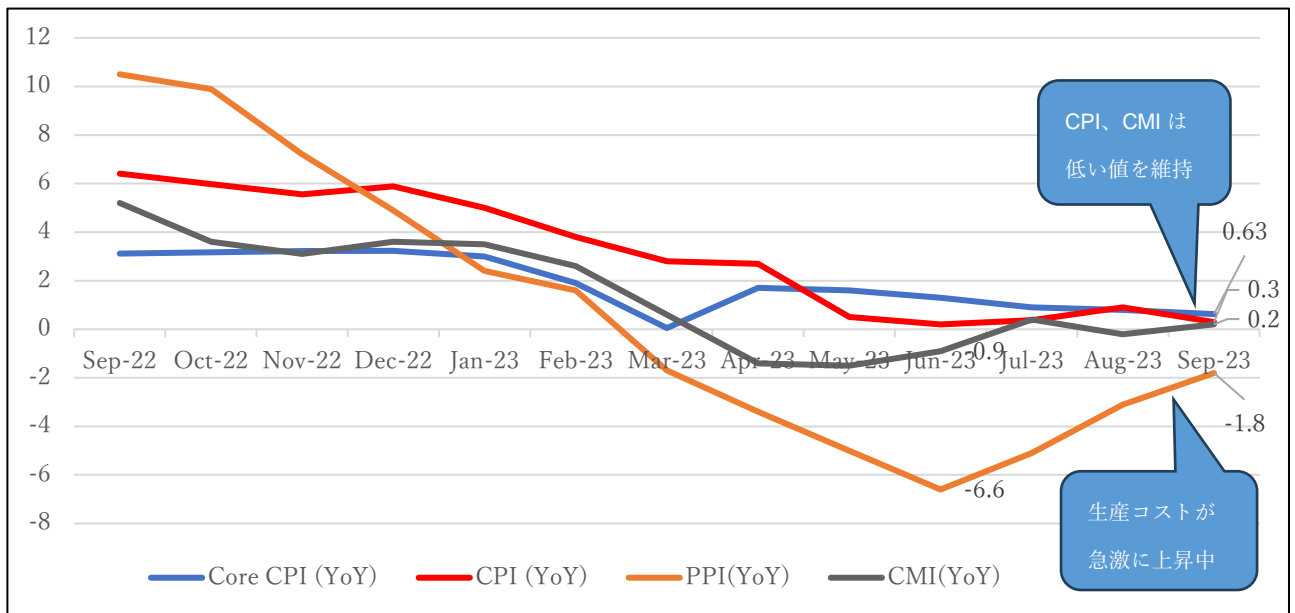


9月のBSI（50. 以上好感）は、50.4ポイントとなり二カ月ぶりに好感を示す50ポイント以上となった。3か月後の期待値は54.7ポイントとなり、こちらもポイントが上昇した。項目別では、製造が3ポイント前月から改善していることが見て取れる。製鉄、製油、製糖などの業績が前月から改善したとのこと。一方、輸出の要である自動車は世界経済の停滞にて引き続き落ち込んでいるとのこと。

出所：<https://www.bot.or.th/>

2. 【データ：物価指数】

タイ商務省は、9月の消費者物価指数（CPI）、生産者物価指数（PPI）、建設資材物価指数（CMI）を発表した。

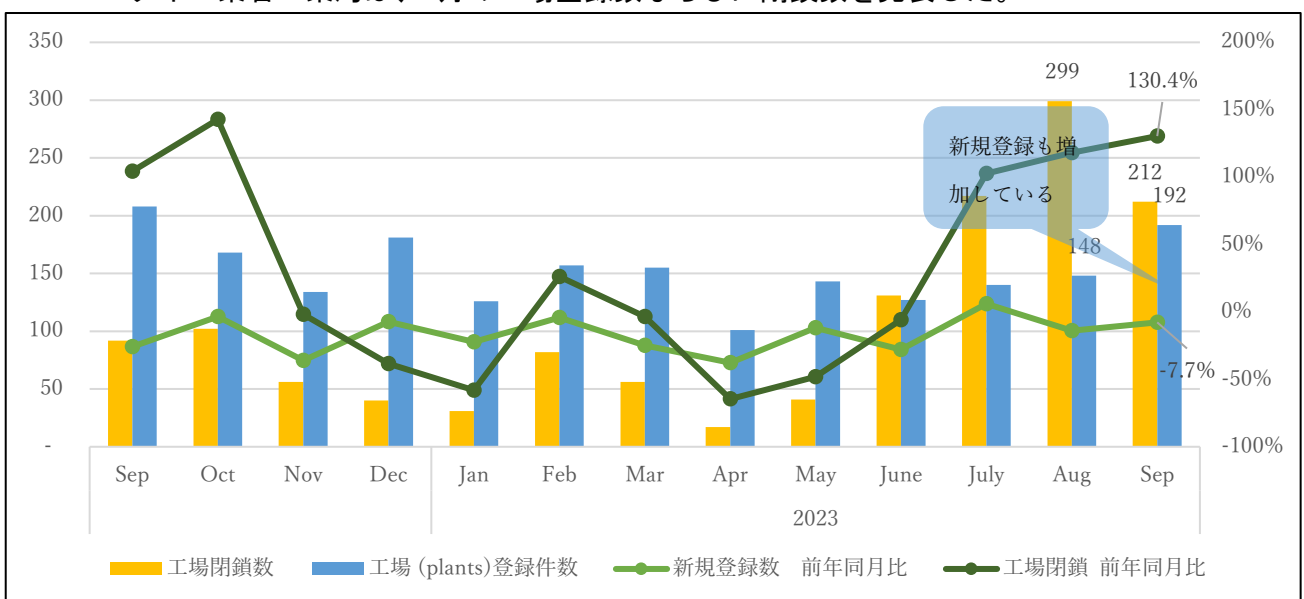


CPIは前年同月比で+0.3%、PPIは前年同月比で-1.8%、CMIは前年同月比で+0.2%となった。CPIは政府の石油価格支援と野菜・食品の価格が低下したことにより微増となる。一方、PPIは6月から毎月増加傾向にあり、生産コストが徐々に増加していることが見て取れる。CMIに関しては、4-6月に於ける住宅建設計画件数が前年同月比で-13%となっており、住宅の販売不振により建設物資価格が据え置かれている模様。

出所：<https://www.moc.go.th>

3. 【データ：工場登録数】

タイ工業省工業局は、9月の工場登録数ならびに閉鎖数を発表した。



9月の工場登録数は192件（-7.7%）、閉鎖数は212件（+130.4%）となった。8月と比較すると閉鎖数は落ち着いてきた感があるが、生産者物価指数の上昇、国内需要の低下、産品価格調整の難しさなどは依然続いている状況で、6月以降、閉鎖数が新規登録数を上回る状況が続いている。10月以降は徐々に閉鎖数は落ち着いていく

と思われる。今回、投資額の最高は48億Bで、サムットプラカーン県で金型や治具の製造を行なう工場とのこと。

出所：<https://www.diw.go.th>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。